

月 日送達  
月 日付記録科

淨寫

校記録科  
合主 任

明治六年

五月五日

出

四号局、宛地係

知事

書記官

藤野 深

本部主為、為小山、河藏、及、低之通、  
越、北、方、在、林、通、面、在、大、成、然、平、大、河、  
抄也

抄

五月

第十四

號

東京府廳用

所、四、日、附、之、以、于、出、大、書、記、官、任、官、任、官、  
學、校、視、察、之、職、任、之、任、之、任、之、  
知、事、就、之、明、後、七、日、午、前、第、九、附、之、  
為、省、長、省、任、出、任、任、任、任、任、任、  
任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、

録

甲 二 六 五 三

五月四日

第 二 〇 〇 二 號

辻文部大書記官貴府下私立各種學校視察之儀  
別紙記載之各學校巡視可相成旨。有之候條為  
御心得此段申進候也

明治十六年五月四日

文部五等属小山健三

東京府學務課長

一等属伊藤徹殿

文 部 省

皇學

貳校

名稱	所在地	設年	學期	教員	生徒	卒業料	校長
迎陽堂學校	飯田町四丁目 小石川区	十三年	三年	男一 女二	六	八六〇	吉田倫理
立志學舎	高水通三丁目 小石川区	十五年	五年	男一	八	二七〇〇	池上謙三

漢學

拾六校

二松學舎	二番町 麹町区	十年	五年	男一四 女三	二五	二〇三〇〇	三島桂
温知塾	三番町 全	十三年	五年	男三	一二	三六〇〇	細野惟章
紹成書院	内幸町三丁目 全	九年	四年	男一	六〇	四〇〇〇	岡松甕谷
緞猷堂	愛宕町四丁目 全	三年	三年	男一	六三	三七八〇	岡千仞
博約義塾	大番町 四谷区	十年	五年	男一	三五	三三〇〇〇	秋月胤永
雙桂舎	練堀町 下谷区	四年	九年	男五	一七五	一三四〇〇	島田重禮
嚶鳴學舎	仲御徒士町三丁目 全	十二年	二年	男五	一七五	五〇三〇〇	川口一雄
温知塾	上野花園町 全	六年	三年	男二	三〇	八三〇〇〇	馬杉繁

漢部省

濠西精舎	浅草区 西三筋町 日本橋区	十二年		男一	六一	五四〇〇〇	小永井八郎
森學校	青物町 日本橋区	十年	八年	男一	一一	五〇〇〇〇	森貞清
英華學舎	本町四丁目 全	十年	五年	男二	三〇	六〇五〇〇	山田正隆
同夜學							
逢原分校	本町一丁目 全	十年	六年	男一	二五	二四〇〇〇	芳野世経
桃文學校	麹町区 一番町	十五年	八年	男五	四〇	四三〇〇〇	下田歌子
櫻陰家塾	小石川区 上富坂町	十三年	四年	男一	三〇	一〇〇〇〇	加藤熙
有為塾	飯田町二丁目 麹町区	十年	五年	男一	六九	四九〇〇	蒲生重章

支那語

壹校

日清館	全 上野區町	十三年	四年	男四	五〇	六〇〇〇〇	廣部精
-----	-----------	-----	----	----	----	-------	-----

習字

三校

書學教館	日本橋区 敷寄屋町	十年	八年	男一	二六	四〇〇〇〇	卷菱潭
本立分學舎	麹町六丁目 麹町区	十三年	三年	男二	三〇	四二〇〇〇	成瀬久太郎

新編

櫻

階

階

四學  
 幼推歌學校  
 上車坂町  
 下谷区  
 三餘堂  
 新小川町  
 六年  
 一  
 一五七  
 一八二  
 二五〇  
 高齋單山

三餘堂  
 新小川町  
 六年  
 一  
 一五七  
 一八二  
 二五〇  
 高齋單山

歌學

壹校

幼推歌學校  
 上車坂町  
 十四年  
 六年  
 一  
 一三七  
 三六〇  
 橋鷗郷

共立學校  
 神田区  
 淡路町二丁目  
 十年  
 三年半  
 一〇  
 五〇二  
 四〇〇〇〇  
 古山數高

慶應義塾  
 芝区  
 三田二丁目  
 慶應  
 四年  
 五年  
 一五  
 五〇〇  
 三三〇七〇  
 福澤諭吉

攻玉社  
 全  
 新錢座町  
 明治  
 四年  
 四年  
 二三  
 一二〇三  
 一四二六六  
 近藤真琴

勸學義塾  
 全  
 愛宕下町三丁目  
 三年  
 四年  
 二  
 五〇  
 二五〇〇〇  
 東胤義

三田英學校  
 全  
 愛宕町三丁目  
 十四年  
 四年  
 一一  
 八六  
 三三〇〇〇  
 矢野武雄

伐柯塾  
 四谷区  
 左門町  
 六年  
 五年  
 一  
 九二  
 四三三〇〇  
 村山通定

同人社  
 小石川区  
 江戸川町  
 六年  
 五年  
 二〇  
 三三〇  
 五〇四〇〇〇  
 中村正直

共憤義塾  
 本郷区  
 駒込四丁目  
 四年  
 四年  
 八  
 七八  
 四九六〇  
 神原精二

歐亞學館  
 麹町区  
 三番町  
 四年  
 五年  
 三  
 二五〇  
 二六〇〇〇  
 巽重範

櫻井女學校  
 全  
 中六番町  
 十五年  
 六年  
 五  
 三三  
 三八一五  
 〇〇〇  
 矢島ヨウ子

成立學舎  
 神田区  
 駿河屋鈴木町  
 八年  
 四年  
 一一  
 一〇〇  
 一五〇〇〇〇  
 平賀了吉

脩治舎  
 浅草区  
 猿屋町  
 十年  
 三年  
 一  
 一九  
 一一五〇  
 六〇〇  
 大田原純熙

英學所  
 芝区  
 露月町  
 二年  
 三年  
 二  
 七〇  
 三三六〇〇  
 鳴門義民

佛學  
 壹校

玫瑰學校  
 浅草区  
 向柳京町二丁目  
 十年  
 三年  
 一  
 三五  
 四三〇〇〇  
 安達豊吉

獨逸學校  
 本郷区  
 本郷三丁目  
 十年  
 八  
 三四七  
 三〇〇六六  
 〇〇〇  
 山村とつ

醫學豫備校  
 神田区  
 同朋町  
 十四年  
 三年  
 一  
 八二  
 一八〇〇〇  
 佐藤精一郎

數學  
 三校

普通測算學校  
 全  
 中橋樂町  
 六年  
 六年  
 二  
 四〇  
 二〇〇〇〇〇  
 福田半

原要義塾  
 本郷区  
 本郷元町三丁目  
 六年  
 四  
 二八  
 二五三〇〇  
 石坂清長

最上社  
 日本橋区  
 田所町  
 十年  
 四年  
 二  
 七七  
 二二五五五  
 橋本宇膳

めくれず

航海測量 壹校

攻玉高航学校 芝区新銭座町 八年 二年 四 二〇 二〇〇〇 近藤真琴

陸地測量 壹校

攻玉高航学校 今 十三年 一年半 一 五 六〇〇〇 同 人

画學 壹校

天繪學舎 日本橋区濱町一丁目 十二年 六年 二 一五 二二〇〇 高橋由一

佛學塾 壹校

佛學塾 麹町区五番町 十年 四年 一 二二 四〇〇〇 中江篤介

建築學 壹校

開工社 京橋区日吉町 十二年 六年 一 二八 一九〇〇 立川知方

農學 壹校

學農社 麻布区本村町 八年 五年 八 八〇 一四〇〇 津田仙

商業學 貳校

三菱商業學校 神田区錦町三丁目 十一年 一年 五 九〇 三五〇〇 豊川良平

商業夜學 日本橋区坂本町 十四年 三年 二 五二 六六五 藤沼龍太郎

簿記學 壹校

明理舎 芝区櫻田本郷町 十一年 六月 一 二〇 一〇二〇 平本道政

醫藥學 貳校

濟生學舎 本郷区湯島四丁目 九年 三年 一 九 六三六 長谷川泰

獸醫學學校 小石川区小島名荷谷町 十四年 三年 八 一三 一七〇九 田澤直孝

藥劑學 壹校

東京藥舖學校 神田区本橋四丁目 十四年 二年 九 四五 五〇〇 藤田正方

經濟學 壹校

共愛學舎 下谷区練馬町 十二年 五年 八 二五 一八五 小寺勉爾

法律學 四校

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

明治法律學校 麹町区有樂町三丁目 十三年 三年 五 五二 三四三 岸本辰雄

東京法學學校	東京法學學校	東京專門學校
神田區 中猿樂町	合 錦町	南豊島郡 下戸塚村
十三年	十五年	十五年
二年	三年	四年
一三	七	七
六七	一五〇	一四八
一〇五九五〇	九三三〇〇	二九〇〇〇
小川盛重	隆陸正邦	大隈英磨

ノ五拾九校

文部省

今更過文部省書記官巡視の相成に付テハ私  
主各種學校中法律科ニ係ル學校ハ悉皆以  
取調相成度旨過日ハ課員ニ面陳致置然  
ルニ差懸リ入用ニ有之ル條至急以取調之  
報相成度此段及以照會也

明治十六年五月廿五日

文部一等屬河村重固

東京府學務課長

一等屬伊藤徹殿

文部省

此文部大書記官川根子右成私塾學  
校取納之宛是七月付此照會了。趣致  
承知共極。因以四月日通學校ハ、校主  
初知共存不の用校之に便と致。故  
之其趣致ハ、七月奉立分以學案之宛ハ、  
此七月付以字中罷了。通切日午後亦  
時々此中地出致共存、取計至、陶器  
函及御學校ハ、表函同致之に便と致。  
者存之、其宛宛五書台付致之趣致ハ、過  
日承知極了。案取分以中下及此報等也  
此親不取致極了。趣致ハ、是日七月學校  
ハ、是日都ハ、上致、此致、乃此致、共也。

東京府

明治二十六年七月廿四日  
東京府立第一高等學校

文部大書記官川根子右成

辻文部大書記官、巡視可相成貴府下私立  
學校ニ関シ左ノ件々取調ク儀預テ御課員  
之及御談話置候所如何相成候哉右ハ巡  
視之都合モ有之候趣ニ付至急御答相成  
度此段及御照會候也

六月七日

文部一尋屬河村重固

東京府學務課長

一尋屬伊藤徹殿

一 飯田町四丁目畫學校ノ事

右校主任者頗廣病氣ニ付休業罷在候趣ニ  
付其後ノ様子取調之儀御談置候所校主ハ

文部省

遂ニ死去致候哉、振新聞紙上ニ承知致候  
果シテ然ラハ該校ハ校主ノ死去ニ付全ク閉校候  
哉又ハ校主ノ死去ニ関シハ學校ハ持續候哉若  
シ之ヲ持續候ハ何日頃ヨリ授業ヲ始メ候哉

一 麹町八丁目本立分學舎ノ事

右校主任願文一郎旅行ノ趣ニ有之候所最  
早飯京候哉或ハ飯京レサルモ習字ヲ教授  
スル者リテ授業ノ様子等ヲ見ルニ差支ナク又  
該校ニ関シ巡視官ノ尋問ニ答フルニモ差  
支無之候哉

一 溜器畫ヲ教フル學校ノ事

右日本橋區或ハ神田區ノ内ニ有之候様業リ候ニ付  
實際ノ取調ヲ御談置候所果シテ有之候哉

一漢學英學等外種類ヲ異ニシル學校ニシテ曩ニ  
開申相成候府下私立諸種學校表ニ漏レタル  
モノ有之候哉

右精々取調相成度旨御談置候所如何相  
成候哉

文部省

志ん九日附り以り此照會お成於此上左部  
 大書記官巡視可お成此上左部  
 ノ古典著り、和文著り、和歌及本邦在  
 事ノ土佐著り、将聖流式ノ画又箱樂  
 高才ノ得算ヲ七女扱スル学博能補之  
 信致了取於右ニ就シ此視可お成  
 者母之、其且ノ牛込内ニ在リ、雅樂替  
 古所ニ武部寮ノ役並ニ之矣、乃由ニ於  
 多左様此所ニ在成此所乃成之也  
 昭和十三年六月十日

東京府三木屬長倉権平

東京府

三木屬長倉村重國



去ル七日附テ以テ文部大書記官、巡視可相成  
貴府下私立學校之関ニ取調相成度件、及  
御照會條所本日夫々御回答之趣ヲ兼條  
然ル巡視可相成程、種類ヲ異ニスル學校無之  
哉之趣ヲ存得共左ノ件々今一應至急御取  
調相成度山段更ニ及御照會候也

六月九日

文部一等属河村重固

學務課長

東京府一等属中藤徹殿

一 本邦ノ古典若クハ和文若クハ和歌ノ類ヲ教授

スル私立學校有之候哉

一 工佐派ナリ狩野派ナリ其他何派ナリ本邦在来ノ畫ヲ

教授スル私立學校有之候哉

一 雅樂ヲ教授スル私立學校有之候哉

牛込門内ニ雅樂簞古所ト云フモノコトアリ

在官談ノモノニテ私立ニ属スルモノニ無之哉

是亦御取調相成度

右ノ何レモ學校ノ大小學科ノ高下等ニ拘ラハ御取  
調相成度候



去ル七月附

貴府下知

御照會候

然レ此禮

故之趣

調相成度

六月

一本邦古

スル私立

一土佐派

放擲

一雅樂ヲ

牛込門

在官

是亦御

右ハ何レモ

調相成度

去凡七日付由照會、業之一時中百當多  
 及、勘定、本邦、古典若クハ和文若クハ  
 和歌及本邦在来ノ土俗若クハ博覧強  
 才ノ画又雅楽又ハ高木珠算具ヲモテ  
 凡各立学校者之其由ハ且文部大臣若  
 官巡視了未案ノ心由未、而細  
 在在種類ニ係ル学校并、即今巡視  
 未案者并、為申進了以申進ル処在  
 学校ノ各名ニ案セテ只視察セラルルハ  
 ノ者并、概シテ其ノ之ヲ巡視セラルルハ  
 示カレハハ巡視官ノ正見ヲ示ルハ申云  
 申越之知了取成充、多、存、奉、巡視

東京府

セラル、ト取トシ案セサル、勿論全ク過  
 其案其他ハ前々種類、各立学校ハ迄至  
 甘々、取費、以申進了不費、徹  
 痛ハ宜シク、取費、概致シ、及此、更  
 此、更、

明治十二年六月十四日

東京府三才属長倉雄平

文部一等属河村重国

去ハ九月泊ヲ以テ及御座會候<sup>ハ</sup>文部大書記官之  
 巡視可相成貴府下私立學校ニ係リ昨日御回答  
 有之候所右御回答ハ其種類ノ學校ノ有無ニ関  
 セバ只巡視官ノ視察セラレベキ程ノモノ無之趣<sup>ニ</sup>了  
 解致候然ルニ之ヲ巡視セラルト否ラサルトハ巡視官  
 ノ意見ニカレベキ儀ナ<sup>ハ</sup>過般及御座會候通り其  
 種類ノ學校ノ有無ヲ議リ度儀ニ付學校ノ大小學  
 科ノ高低ニ関セバ御取調相成度付テハ巡視セラレ  
 ベキ程ノモノナ<sup>ル</sup>ヤ否ヤハ僕セバ其種類ノ學校ノ有無今  
 一應御取調相成度此段更及御座會候也  
 六月十三日  
 文部一等属河村重固

文部省

東京府二等属長倉雄年殿

去ル九月附及御照會候件々ニ對シ一昨十二日御間  
答相成候主意ハ全ク其種類之學校設置無  
之儀ニ有之候旨本日更ニ御間答之趣了兼候  
節而有別紙記載之學校更ニ巡視可相成候條  
此段申進候也

六月十四日

又部一等屬河村重固

東京府二等屬長倉雄平殿

追テ別紙學校巡視之順序日割等ハ其種類ニ  
因テ區別スルヲ要ロク便宜ニ從テ御定メ相成可然  
存候条石日割至急御取極メ御申出相成候様  
致度此段申添候也

文部省

辻書記波巡視日記

二月十日

湯島新茶所

本郷片町三丁目

湯島四丁目

辛巳亭

獨文亭

湯島亭

二月十九日

芝罘平所

西久保神五所

寢室町三丁目

養正亭

修成亭

赫五塾

温知塾

二月二十日

布所林町二丁目

下永仲徳士町二丁目

明聲塾

晚香塾

二月二十一日

錦町二丁目三番地 日本橋神楽坂三丁目

上野元町二丁目三番地 日本橋神楽坂三丁目

下野元町二丁目三番地 日本橋神楽坂三丁目

知事館本會より出立

如所記より

大府縣町中寄新...

通津社

菅塾

所記主任

信記

休會



辻書記  
六月十日

湯島新庄町

本郷五丁目

湯島四丁目

三月十日

社務所

芝罘平町

西久保新庄町

寢室五丁目

六月二十日

本所村所二丁目

下永伴佐士町二丁目

六月二十一日

早稲田町

山手町二丁目

宮内水道街三丁目

以上

外二神内歸町

於了更、取浦有之

都區支擔

諸君

函格

Handwritten notes in cursive script, including the characters '函格' and other illegible text.



辻書記後巡視日記  
二月十日

湯島新茶所  
本郷片所  
湯島四丁目

辛巳亭  
獨文亭  
湯島亭

三月十日  
三軒茶所  
芝罘平所  
西久保茶所  
經家五所

養正亭  
修成亭  
赫五  
温知亭

三月二十日  
本所林所  
下本伴佐士所

明聲亭  
晚香  
親土

三月二十一日  
早稲茶所  
山本所  
向水道所  
以上

正午  
貝岸亭  
普通亭  
益答

外神田  
於更  
都區

都區

西郷  
三月十日  
三月十一日  
三月十二日  
三月十三日  
三月十四日  
三月十五日  
三月十六日  
三月十七日  
三月十八日  
三月十九日  
三月二十日  
三月二十一日  
三月二十二日  
三月二十三日  
三月二十四日  
三月二十五日  
三月二十六日  
三月二十七日  
三月二十八日  
三月二十九日  
三月三十日

目次

辛巳學后  
獨久學后  
湯島學后

卷正學后

修成學后

赫五塾

温知學后

明聲學后  
晚香塾

貝岸學后  
普通學后  
益嘗塾

Handwritten notes in the left margin, including the characters '塾' and '益嘗'.

貝岸學后... 塾... 益嘗... 普通... 明聲... 温知... 修成... 卷正... 獨久... 辛巳...  
Handwritten notes and commentary in the lower section of the page, providing details about the listed items and their origins or authors.

辻書記後巡視日記  
二月十日

湯島新莊所  
本郷方所三日  
湯島四丁目

幸巳亭居  
獨文亭居  
湯島亭居

三河庄所 二月十日  
社所 寺井所 藤所 寺多他

養正亭居  
修成亭居  
赫五塾  
温知塾居

芝琴亭所  
西久保神所  
經宿町三日

明聲亭校  
晚香塾  
二月二十日

本所林所 二丁目  
下永仲佐士町 二丁目

早稲田町 二丁目  
界港 長五丁目  
山手町 二丁目  
向水道側  
以上  
外 神内  
於 更

都區

湯島  
芝琴亭  
西久保  
經宿  
本所  
山手  
向水道  
外  
於

書

湯島新莊所  
本郷方所  
湯島四丁目  
三河庄所  
社所  
芝琴亭所  
西久保神所  
經宿町  
本所林所  
下永仲佐士町  
早稲田町  
界港  
山手町  
向水道側  
以上  
外 神内  
於 更



# 説明ターゲット

次のコマに撮影された付箋、  
文書等は前のコマの文書に  
挟みこまれていたものです。

1900

漢學

名 補 所在地 校長

貝岸學 扶 本町區 五丁目 宮原 確

明聲學 校 本町區 一丁目 今井芳 洲

孟 箝 塾 小石川區 二丁目 内田重之助

晚 香 塾 下谷區 二丁目 鹽谷時敏

養正學 舍 麻布區 二丁目 山井幹六

修成學 舍 芝區 二丁目 築山忠直

赫 々 塾 芝區 神谷町 中村 義方

區知學 舍 芝區 三丁目 藤田弘策

普通學 社 山手區 一丁目 松浦泰行

辛巳學 舍 本郷區 新花町 菅沼貞吉

獨文學 舍 今町區 二丁目 飯塚忠教

獨逸學 小學校 尚島區 四丁目 小林 道清

湯島學 校 尚島區 四丁目 小林 道清

信聽筆記學校

在、神田區錦町三丁目東京法學校邊、有之候、越山取調相成、

寺内町三丁目四番地

正大書院巡視日記

五月七日

皇太子

血陽堂字校

立志字舎

日蓮八日

片桐

九ノ上

温苑字舎

楓大字校

日大九日

芝川

沼田書院

海猷字舎

十日

由平所三丁目  
三丁目四丁目

片桐

赤之の松

英華字舎

日夜字校

日蓮字校

日十一日

日平坊青地町

東京府

片桐

皇海宮清

雙桂字舎

學苑字校

日十二日

上西花園新州

片桐

皇海宮清

皇海宮清

皇海宮清

皇海宮清

皇海宮清

片桐

皇海宮清

皇海宮清

皇海宮清

有めり塾 修身所 十一月

日十五

極品求塾 若の上家極町 味屋

五匠原塾

日十六

書子塾 修身所 味屋

三 隆見塾 修身所

二 孝 技四

日十七

共之塾 修身所 味屋

初祖歌塾

日十八

脩治 修身所

東京附

其之塾

日十九

歐西塾

日廿

修身塾

日廿一

代柯塾

日廿二

同社

日廿三

政王社

日廿四

英子塾

日廿五

修身

手あはれりてまてり

花口 修身塾 味屋

味屋

英獨...  
...

...

共...  
...

...

佛...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

年五十七

年五十七

年五十七

四日

清生居流

謝望波

孫

叶

上海

上海  
上海  
上海

六月五日

張文館

張東法律夜學校

六月九日

習習學校

上海

上海

上海

上海

上海

年五十七

年五十七

年五十七

取

手紙の付分

年表七時五分

清生居院  
御座候様  
換

叶尾

二つに部は... 由は... 候は... 候は...

先 甲... 候は... 候は...

此... 候は... 候は...

取厚

年表七時五分

年表三時五分

年表一時

張文帖

兼東法津彦学校

六月九日

習字学校

如全分巻

順 東 府

手紙

年七月分

年七月分

清生居院  
歌聲樓  
樓

叶尼

Vertical text on the right side of the page, possibly bleed-through or additional notes.

取原

張文館

泰東法律夜學校

亦即南神保町十番地  
京橋之南側在町

六月九日

習修學校

直島保

東京府

如全分是處

子

年七月分

年七月分

Vertical text on the left side of the page.

# 説明ターゲット

次のコマに撮影された付箋、  
文書等は前のコマの文書に  
挟みこまれていたものです。

丁数 NO. 122 ~ NO. 124 まで

御多正初富所之巻化

老梅多枝  
紅杏盤

梅之葉初發  
梅井都節

祝と生徒十二名

松梅并たる者ハり之醫多枝ノ出  
其存即也祝と節ハ也ノ時節ニ  
出處ヲ乞交方中明ク

月水金 午始有さばる交す  
火木土 午始有さばる交す

後集の歌集巻中ハ八年甲子方々書之書す

不松方松方  
有自林

年  
林  
有自林

六月一日上午九时  
及户部所、海防、海防、海防